



行役所 場
村 刷 式 社
発 東 村 刷 式 社
湯 印 刷 株 式 社
北 洋 印 刷 株 式 社

今年の稲作と反省

西村普及所長を

囲み

来年こそ「五石の壁を」

本村農業の基幹である米の振興を図るため、米生産強対策の一環として実施した多収穫競争会で、見事一位の栄冠に輝いた谷川国基さん、並びに優秀な成績を上げられた農家の皆さんから今年の稲作について、実際に体験され感じとったことを座談会によって披露してもらい皆さんの参考に資したいと思ひます。

そして、この一年間皆様の良き師として指導に当られた普及所の先生方から、その総まとめとして今年の稲作の反省と問題点について、明らかにしていただきましました。

ここにその一部を紹介しますが来る年の稲づくりの一助になれば幸いです。

なお、この座談会は去る十一月十五日に行なったものでありますが、同日入賞農家の表彰式が盛大に行なわれ、村農業振興協議会(会長湯東村長)より表彰状並びに立派な賞賞品が授与された。

入賞は技術の成果

司会 本日はおめでとうございました。本日の栄冠は、好天候もさることながら日夜をわかつたぬ汗の結晶、技術の成果がもたらした賜ものと深く敬意を表します。

それでは、只今から座談会にはいらしていただきますが……史上最高の豊作といわれる今年

の稲作について、皆さんが実際に経験され、感じとったことをきくばらんにお話しをいただき、反省点なり、問題点を明らかにしてみたいと思ひます。まず、所長さんから総括的に今年の稲作と反省について、お話しをお願いします。

所長 先ほど盛大な表彰式に出席させていただき、皆さんのうれしそうなお顔を見ており、私も非常にうれしく感じました。

今日受賞された皆さんは、おそらく春以来村の振興協議会で掲げた五石以上、いわゆるバイク一台を目標にご努力をされたことと思ひます。不幸にしてその目標を達成することができませんでしたが、きたるべき年に、この懸案を皆さんの力で是非から取っていただきたいと思ひます。

そこで、私にあたえられた、今年の稲作の反省と問題点ですが、これは、本来なら稲作の専門の係が話しをすることが一番よろしいかと存じますが、普及所として、まだ最終的に集約をみていないのが正直なところであります。したがって私から私なりに感じた事、反省をひとつお話し上げてみます。

今年の豊作は、天候が

全部か、技術か、

一般に言われている言葉ですが『今年は天候に恵まれたから豊作であった……』この言葉はいろいろ論議のあるところですが私は、『投げやりの稲作を行なっている人には、通用する言葉のような気がする。皆さん天命の飢饉という言葉を知っておられますか……昔の天命の飢饉ということを、



団結と発展を象徴した

「湯東村の村章」決まる

湯東村民皆さんが望んでいた、湯東村を象徴する、「村章」がこのほど決定いたしました。

この村章は新潟日報により全国募集して、二百余点の応募作品の中から選ばれたものです。

作者は、岩手県盛岡市のデザイナー長て、沢幸子さんです。

村章は作者はこの村章のデザインについて「湯東の頭文字「カタ」を图案化し、飛鳥の融和と団結の精神を象り、翼は雄飛発展の村勢を表現し、湯東村の輝ける将来を平明、優雅に象徴した。」と云っております。

私たち皆さんのマークとして、親しんで頂きたいと思ひます。

私達は、うわべとして、冷害等で実りがなかつた、というように簡単に考えているようですが、それは、決して冷害で稲が実らなかつたということだけでなく、今でいう干ばつ、いわゆる異常な日照、あるいは水害、風害等、あるとあらゆる災害が約五年間位にわたって発生、突りが何年もなく、そして飢饉という状態がでできたのだと思ひます。そうしますと、昭和三十九年頃を中心にして考えてみた場合、現在の人間の力、技術がなかつたならば、今ごろは俗に言う飢饉の状態にあつたと思う。今年は大豊作ではあつたが、かつてない異常な天候日照り続き、あの西川の濁水による問題、し尿処理場の処理液を人間の飲料水としたければならない状況のなかで、稲を育てたということ、もしも、これが天命の年鑑であつたら、おそらく実りはなかつたであらうと思ひます。これを合せて自然の恩恵だと言つてしまえば言われぬわけではないが、私は、やはり、人間の技

術がこれを克服しあふ異常な日照を良く利用し得たというふうと考えている。そんな点を技術というなら今年の豊作はやはり技術がなし得た成果として、まず、因縁づけをしておきたい。

今年受賞された人は、毎年立派な成績をあげている。

前からの技術が優れている……技術がなおざりにされて増産はあり得ない……

これは表彰式の際、この村長がいわれた言葉ですが、この言葉一つ一つが今年の稲作の反省だと感した。決して、天候という自然条件だけで皆さんが同じ収量でなかつたということ……平均が十俵のところを、稲を研究している人、技術の優秀な人は十二俵も取つて、技術のいつ、いかなる天候の年でも高位増収を得ていること、このことをお互いに今一度かみし(次頁へつづく)

めてみたいと思う。幸い今年には好異當天候下のおかげで大豊作を...

今年の豊作は、稲づくりをバラバラにする可

今年の場合皆さんが思い通りの稲作りを行ない、それぞれ豊作であ...

生育状況を知ることが稲づくりの要である。

今年は、異當天候下のおかげで、稲の生育が一週間から十日も早く...

今年は奨励品種が、悲劇の年であった。

何故か、というならば作業ペースが遅れ一善悪の環境に立たされた...

だから、今年の稲のなかで穂の構成が一番悪かったのが越路早生...

苗代の「あつまきは」やめたい。

今年は春先の苗代期に、極めて好天に恵まれ、一般的に無難な...

品種差の特性を身につけた、稲づくりをやる

今年が良いにつけ悪いにつけ総合的にみて肥料を昨年の倍位施肥...

五石以上は何年後に可能か

A氏 私は甲申年もなく講演を聞くのが好きで、いろいろな先生...

増収の土台は、土づくりに、肥料の小手先だけでは限度がある。

所長 山賀さんが県の一位になられた大きな要因は土壌だと思...

暗渠が終っている。現在白根郷は最高級の反収地帯である。残念な...

幸いこの地域においても今年、今井が構造改善で、遠藤が団体管...

C(谷川氏) その点は親父に感謝しております。確かにその効果は...

司会 収量をあげるには、いかにして穂数を多く取るかが問題にな...

いかにして穂数を多く取るか。

高橋技師 今年の場合、反省のなかにふれてきたように、苗代期...

品種改良について

D氏 近年、幸か不幸か東北系の品種が多く入ってきた。端的に...

種は

所長 この地域に適した品種について、技術者が考えていること...

県の取りくみは?

D氏 近年、幸か不幸か東北系の品種が多く入ってきた。端的に...

改良の道を歩んでいるようだ。だから、この地域に適した立派な新...

運転 酒をのんだら運転しない。酒をのませたら運転させない。

皆んなでなくそう 年末、年始の飲酒 運転

米多収穫競争会 (団体部門) 優良農家 組合表彰される。

今年より湯原村米六〇〇キロ達成運動を展開し、春以来農家各位...

一、参加農家組合数 村内二十五農家組合が参加

42年度の3倍以上田面積 湯原37年度の3倍以上平均収量

天気予報 12月1日、2日

全船概況 十一月から一月にかけては寒気が日本付近をおおむね...

一月概況 月はじめは冬型の気圧配置が現われ気温は低めになり...

二月概況 大陸の高気圧が北偏して張り出す傾向が多くて気温が下...

高血圧の

食事について

最近家庭における食生活も大分向上して参りました。生活が豊かになる反面、色々の病氣も数多くなつて来ているのではないでしようか。

今回は一般によくある成人病の一つとして知られる高血圧の食事についてふれてみたいと思ひます。

！先ず食塩の制限を！

食塩と血圧が深い関係にあることはよく知られております。もつとも食塩といつても血圧に關係あるものはその中のナトリウムの方で「重炭酸ソーダー」もナトリウムを含んでいるので血圧の高い人が多くとることはよくないわけです。何故ナトリウムが血圧に悪いのか、はっきりいわれておりませんが、体内の水分の出入に關係するものと思われ、現在のところ高血圧の大部分をしめる本態性高血

圧のうち食塩の制限だけで血圧が下るものがあり、重症の者では不十分でその他の治療法、例えば薬を使つたりしなければならぬものもあります。しかし一般家庭における食事療法は第一歩としてまず塩辛いものを出来るだけさげることとをしなければなりません。家庭

| 品名 | 分量 | 含む塩分 |
|-------|---------|----------|
| 塩 | 5g | 5g |
| 糖油 | 5cc | 1g |
| 味噌 | 10g | 1g |
| ソース | 5cc | 約1g |
| マヨネーズ | 5g | 0.1 |
| 食パン | 3枚 | 0.8~1.2g |
| バター | 小サジ1杯 | 0.01 |
| 佃煮 | 20g | 1.4~3.0 |
| ハム | 1枚 | 0.5 |
| 梅干 | 中位1ヶ | 0.3~0.4 |
| たくあん | 4~5切 | 1.4 |
| かまぼこ | 1切(20g) | 0.4~0.6 |
| ちくわ | 1本(40g) | 0.8~1.2g |

で塩分を制限することはなかなかむずかしいことですが注意していただきたいと思ひます。ではどれ位にしたらよいかと申しますと普通の人がとつて居る量(一日約一五g)の半分位(七~八g)にすべきたといわれています。そこで日常よく使われる調味料や食品に含まれる食塩の量を表にしてみました。

この表をみてもお判りと思ひますが、食パン、ちくわ、などに案外たくさん塩がつかわれておりますね。実際に食塩の制限を上手に

やるための工夫として例をあげてみますと、①酢を上手に使うこと、レモン、ゆず、なつみかんなど酢っぱいものを使う。②香りのある野菜の利用、セリ、うど、みょうが、春菊、ミツバ、ニラ、のり、パセリなど。③味付の注意として、は魚、野菜、とうふ、芋類、こんにやくなどを焼く、蒸物、鍋物にしてあとで分量のお醤油をかけて食べるなどです。その他食塩の制限の他に注意することは、脂肪を制限すること(植物性の油であれば普通でよい)、水分を大量で

冬をむかえて火災シーズンにはいります。毎年、石油ストーブによる火災があつてを絶ちません。しかしこれも、大半は取り扱ひの不注意から、つぎの点を十分注意してください。

○取扱説明書を家族じゅうでよく読んでおくこと。

○点火の際、よく燃えついたら

どうか確かめること。

○燃えている時に、油を補給するのははもつてのほか。

○火のついて居るまま、持ち運ばないこと。

○使い終わったら、火が消えたかどうか確かめること。

○いつも、きれいに掃除しておくこと。

○置き場に注意。

○フスマ、障子など燃えやすいもののそばはさけないもの。

(NHKにいがただより転載)

おねがい

昭和四十二年工業統計調査

茶、緑茶なども適量に、ビタミンCやビタミンB₁が不足しないよう、又家庭でこまかい食事に注意しても外食の時にこれが破れて効果があがらないことが少なくありません。このことは特に食塩の制限の場合、大切なことです。

以上、食事に注意として一食

実施について

経済土木課

通商産業省では毎年十一月三十一日現在で工業統計調査を実施しておりますが、そのたびごとに皆様の御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

本年もまた昭和四十二年の調査の時期となりました。

調査にあつては原知事によって任命された調査員(役場職員)が貴事業所に十一月月中旬から明年一月中旬頃までの間に伺ひ昭和四十二年工業統計調査票の記入をお願いいたしますから御多忙のことへお手数ですが該当調査事項について御記入の上、指定された期日までに調査員に提出されるようお願いいたします。

皆様から提出された調査票は厳重に保管され統計法によつて、その秘密は厳守され、統計目的以外たとは税金徴収の算定資料等申告者に不利益となるようなことには一切使用いたしません。御心配なく正しい御報告をお願いいたします。

御承知のようにこの工業統計調

査はわが國の工業の実態を明らかにするために製造業に属する全事業所について調査する國の重要な統計調査であります。

この調査結果は工業統計表として公表され國や地方公共団体の行政施策の基礎資料として、また民間企業の経営の指針として各方面に広く利用されております。

本調査の趣旨とその重要性を御理解の上、御協力下さるようお願いいたします。

